



週報 佐土原ロータリークラブ

会長：村上 實 副会長：宮原建樹

幹事：日高邦孝 会計：山本兼裕

事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一

例会場：サンホテルフェニックス

例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地

例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347

事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

RI2730 地区ガバナー 山下浩三

中部分区ガバナー補佐 池田豊繁

RI 会長テーマ **奉仕を通じて平和を**

2730 地区テーマ 夢・誇り・挑戦

すばらしいロータリーへの再生

RI テーマ

奉仕を通じて平和を

第 1247 回例会 平成 25 年 2 月 20(水)

<今日のプログラム>

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
『それでこそロータリー』
3. 会長の時間 4. 幹事報告
5. 出席報告 6. ハッピーBOX披露
7. 委員会報告
8. ゲスト卓話「丸毛 進氏」
「綾街で木工を通じて新しい街づくり」
9. 次週の例会案内
10. 点鐘

■第 1246 回の会長の時間 平成 25 年 2 月 13 日

- 会長 村上 實君
皆さんこんにちは、
本日は大 1246 回
の例会です。
先日 12 日に宝塔
山桜の木に追肥作
業を行いました。
藤堂会員、村岡会
員、梶田会員に参



加していただきまして、大変有難うございました。梶田会員には肥料の寄付までいただきました、ありがとうございます！下の方に植えました桜は半分ほどは枯れている状態でした。20 周年記念に植えました桜のほうは追肥も施しましたので綺麗な花を咲かせてくれると思います。またクラブの観桜会の際に観られることを期待しております。今日は会長の時間と言うより雑談に近い話になりますが・・・12 日の日に息子が事故に遭遇しまして場所は佐土原生協近くの御殿下の交差点でしたがその際の相手側の男性 3 人の事が私なりにとても驚くことが多々ありました、皆 40 にもなる男性なのですが、お互いに口に出す言葉が「お母さんにキツク怒られるぞ、どうする・・・電話しておかなければ・・・」という事を口々に言っておるのを聞き 40 にもなる男でこのような思考がいるのだというのを目の当たりにし驚きました。他に色々あったのですが・・・夕方には息子の方に挨拶の電話は入り

ましたのでそこいらへんはキチンとしているのかなとは思いましたが、今は色んな意味で男が弱くなっているのかなと思いました。

また先日補助金セミナーの方に出席してきました。私自身勉強にもなると思い参加しましたが、色々なことがやはり分かり勉強になりました。

佐土原クラブは代々優秀な寄付の実績がありますので今後も補助金申請も含めて活動を続けていくことが大事だと考えておりますので皆様方のご理解ご協力をお願い致します。

■幹事報告

●副幹事 林 厚雄君

例会変更届け～無

* 宮崎 RC～第 50 回職業奉仕賞贈呈式への案内

日時 2013 年 3 月 5 日 (火) 12:30～
場所 宮崎観光ホテル 東館

* 次期クラブ社会奉仕委員長 地区セミナー延期の案内

■出席報告

●出席委員長

原田宗忠君

会員数 23 名 (免除会員 2 名)

出席数 18 名

出席率 90.4%

メイク届 1 名 岩切君
修正出席率 80.9%

欠席届 5 名 (岩切

君・正岡君・梶田君・日高君・永野君)

■ハッピーBOX披露 ●親睦委員会 長倉祐一郎君

<ニコニコへ>

吉田 康一郎君～展示している車をオークションに出品して小売プライスと同じ位で売れました！超ラッキーでしたのでニコニコに入れます。



■ 委員会報告



●中武幹雄君
来週のゲスト卓話にお呼びする方の紹介をします。
福井君と会う機会がありました時に紹介いただいた方です。
丸毛進氏～宮崎中央食品衛生協会会長綾分区会長 綾町でラーメン店「みそ膳」を経営し趣味の木工を通して町おこしに力を注ぎ活躍中の方です。皆さん全員参加でお願い致します。

■ 2月のセレモニー♪



本人誕生月～宮原 建樹君
☆ ご夫人誕生月～宮原洋子さん
正岡 洋子さん結婚記念月～正岡文郁君
洋子さん

♪おめでとうございます♪

■ 会員卓話



●相川 久仁子君

皆様改めましてこんにちは、急遽ここに立つ事になりましたけれど 20分ほどお時間があるとの事ですが話し出したら止りませんので5分前になりましたらお教え下さい。10日から昨日の夜まで長崎から福岡に居りまして、今日は花山手の方で12時まで会議がありましたので少し遅れてしまいました。今私が介護施設をしておりますのでこのお話をさせていただこうかと思います。

18年の10月に開設させて頂きました。それまで私はずっと学校卒業しましてから企業畑の人間でして、福祉・介護という言葉には無縁でしたが帰省した時には地域の1人暮らしのお年寄りの方々を訪問させていただくと言うことは普通に続けておりました、しかし帰るたびに高齢者の方が自宅に住んでおられない、色んな所の施設に行かれてしまっている、高齢者の方々が何故泣いて暮らさなければならないのだろう・・・等々が重なりまして、考えさせられました。私自身も

次週予告

- | | |
|-------|-----------------|
| 2月27日 | 委員会中間報告 |
| 3月6日 | フォーラム 識字率向上について |
| 3月13日 | 25周年記念式典 例会 |

それまでの生き方考え方を振り返る機会がありまして大変深く悩み、髪も全部抜けてしまう位悩みました。結果企業を辞め、今までの行き方を一度リセットしようと思いきや親戚・親・兄弟の反対を押し切って今の施設を立ち上げる決意し約1年間かけて協力者・資金繰りも含めて本当に大変な思いで苦しみました、これは死ぬしかないかな・・・という位苦しみました、が何とか立ち上げる事が出来ました。

現在数々の他業種の方々がこの業界に入ってきておりますが絶対にこうあってはならない！という事も耳に入って来ます。施設というのは何の為にあるのか・・・と言うことを私どもは絶対に忘れてはならないと思います。私の所は小さい施設であります、絶対に規則は作ってはならないと常日頃より言い伝えております。何故かと申しますと、自分が年を取った時にどうおもうか？たとえどんなボロ家であっても自分の家で最後まで生活したいと思うであろうし年取ってまで人に「ああしなさい！こうしなさい！」と人に支配されて生活はしたくないだろうと思うからです。ですから何も規律は作らず、家と同じ空気・感覚で暮らしてもらうことが私の信念であります。

それと私どもの施設では、たとえ認知症の方であっても家族・本人・施設のトライアングルでのケアという考えでおります。経費につきましても銀行引き落としでは無く直接支払いにお越しいただくようにしております。その際に支払いだけ済ませて返ろうとするご家族もおられますが無理やり引きとめ会って帰られるようにお話致しております。たとえ認知症であっても今まで生きてきて良かったなと思ってもらえるような介護をしていきたいと思っておりますし、今のこの豊かな日本を支えてきて下さった高齢者の方々から余計なお金を取って儲けようと決して考えるとはならないと考えております。

そのような考えの元での経営であるなら決してすべきでは無いと思っております。私ども個人の施設は国からの補助金は一切無いわけですから、資金繰りは当然苦しいわけです。しかしその中でも信念を曲げる事無く高齢者の方々の為に最善の介護を尽くして参りたいと考えております。またこの先私も職員もこの様な信念が曲がってしまうことがあれば、その時は施設を閉める時だな！と考えております。まだお話は途中ではありますが時間がなくなってしまいましたので終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか